

平成29年度 第2回木更津市生涯学習推進協議会 議事録

- 1 日 時 平成30年3月12日（月）午後2時00分～3時30分
- 2 会 場 木更津市役所朝日庁舎 会議室 F
- 3 出席者 委 員：前野一夫会長、桂啓之副会長、佐久間剛委員、古藤田憲之委員、大河原敏雄委員、橋詰 清委員、平野正善委員、江口かほる委員、安藤順子委員、平本俊明委員（10名）
事務局：高澤茂夫教育長、堀切由彦部長、岩埜伸二教育部次長、秋元淳生涯学習課長、鈴木和代副主幹、秋川裕也事務員（6名）

4 次第

1 開 会

- ・会長挨拶
- ・教育長挨拶

2 協議事項・報告事項

（1）平成29年度木更津市生涯学習事業について

- ・市民公開講座
- ・生涯学習フェスティバル
- ・生涯学習バス「まなび」

（2）その他

5 配布資料

- ・会議次第

6 会議の概要

（事務局）

ただ今より、木更津市生涯学習推進協議会第2回定例会を開催いたします。委員12名中、10名の出席であり、欠席は2名であります。会議の成立要件については、委員の2分の1以上の出席となっておりますので、本会議は成立しております。

なお、本会議は、木更津市審議会等の会議の公開に関する条例施行により公開されておりますが、本日の傍聴人はおりません。以上報告いたします。

それでは最初に前野会長よりご挨拶をいただきたいと思います。

（前野会長）

本日は、平成29年度第2回木更津市生涯学習推進協議会にご出席いただきありがとうございます。活発なご審議をお願いいたします。

（事務局）

ありがとうございます。続きまして、高澤教育長よりご挨拶申し上げます。

(高澤教育長)

本日は大変お忙しいなか、第2回生涯学習推進協議会にご出席いただき誠にありがとうございました。お陰様で今年度の事業も滞りなく終了することができました。これから報告があると思いますが、市民公開講座については現在清和大学の先生方を講師に開催しておりますが、来年度は少し内容を変えながら、と考えております。今日は本年度を振り返って委員の皆様から忌憚のない意見をお聞かせいただき、来年度の事業に活かしていけたらと考えております。また、これまで会長をお務めいただきました、木更津高専の前野校長先生が今年度末をもってご退職なさると伺いました。今後もお身体に気を付けてご活躍いただければと思います。本日はどうぞよろしく願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。それでは協議に入ります。

今後の議事進行については、生涯学習推進協議会設置要綱第6条により、会長にお願いいたします。

(前野会長)

これより進行を務めさせていただきます。

まず、議題(1)「平成29年度木更津市生涯学習事業について」の協議であります。

事務局より事業の概要についてご報告いただいた後に、質疑応答、協議を行いたいと存じます。

それでは、生涯学習市民公開講座、生涯学習フェスティバル、生涯学習バスの各事業について、ご説明をお願いいたします。

－生涯学習関係事業について説明－

※生涯学習フェスティバル、市民公開講座の風景写真を投影

(前野会長)

ただ今の説明につきまして、委員の皆様からのご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

(橋詰委員)

冒頭で教育長が「生涯学習を変えながら」とおっしゃっていましたが、どのように変えるのですか。

(事務局)

市民公開講座について変えていくということです。市民公開講座については、これまでも皆様から「講座内容の幅を広く」とのご意見を伺ってまいりましたが、昨年、清和大学さんと高専さんが協定を結ばれているということもあり、来年度から市民公開講座に高専さんに1コマ入れていただくようにしたいと考えています。

(橋詰委員)

市民公開講座は内容が難しい。金鈴塚の公開講座などには多くの方が集まっています。市民公開講座なのだから市がイニシアティブをとって市民が興味を持つテーマを決めていくべきでは。そうでないと人が集まらない。女性が少なく男性、しかも高齢の人が多。例えばオーガニックシティとは何か、という内容の講座をお願いしたい。清和大学さん、高専さんに「こういうことをやってください。」と市が要望すべきだと思います。

(前野会長)

(高専として)すべてにお応えはできませんが、要望を言っていただければと思います。一般の方が興味を持てる話もできるのではないかと思います。例えば、宮沢賢治を研究している教員もおります。昨今、木更津市在住の方が、宮沢賢治にちなんだ文学賞を受賞していますので、そのようなことにもお応えできるかと思っています。

環境系でも水の浄化や、盤洲干潟に詳しい教員もおります。木更津には日本で最大の干潟がありますので、それについて話をすることもできます。

(秋元課長)

市民公開講座については、元々せっかく地元で清和大学という高等教育機関があるので、その強みを活かして、年に数回は普段聞くことができない高度な学習内容の公開講座をしましょう、ということが当時の目的でした。今年度は若干例年よりも高度過ぎたのかもしれませんが、こちらでも毎年参加者からの要望を伺う中で打ち合わせはしているのですが、あまり易しいものだけでなく、さらに今後も検討してまいりたいと思います。

(古藤田委員)

全7回の講座ですが、予算の関係で7回なのですか。来年度、高専の先生にお願いするとしても増えないのですか。

(事務局)

来年度については、予算を増やすことができませんでしたので、7回のうちの一コマを高専さんに担当していただくということで進めたいと考えています。また皆様のご要望を伺う中で、少しずつ変えていくことも可能かと思っています。現在のところは、まだ高専さんに加わっていただくということまでしか決まっていらないので、これから詳細は協議してまいります。

(平野委員)

高専さんに加わっていただくことは、自分が要望したことでもあるので、私としては非常に嬉しいです。高専さんが講義をしていく場合、ぜひ若い人にも興味を持てるものをお願いしたいと思いますが、その回だけ参加するということはできますか。会場に余裕はありますか。

(事務局)

1 回だけの参加も受け付けております。会場の収容人数は大丈夫です。

(秋元課長)

今年度の第 1 回目の会議で、皆様から高専さんにも加わっていただけたらというご意見をいただき、平成 30 年度は少し取り入れていくということで、このようなお話をさせていただきました。それにいたしましても、今回初めての取り組みになりますので、来年は一コマから始めて、将来的に増やすことや、内容によっては会場を変えるということも考えていきたいと思えます。まずは一コマからということが今回の主旨でございますので、ご理解いただきたいと思います。

(前野会長)

歴史的な経緯もありますので。ご意見ありがとうございます。

(桂副会長)

これまでの参加者の意見集約をして、それを取り入れていると解釈してよいのでしょうか。

(事務局)

はい、そうです。

(前野会長)

パワーポイントで写真を見せていただいて、とても有難かったです。来年度もぜひお願いいたします。

(古藤田委員)

生涯学習バスは調子が悪いと聞きましたが、大丈夫でしょうか。

(事務局)

今年度、エンジン関係の調子が悪い時期がありましたが、修理をして直っておりますので、現在は通常運行しております。

(平本委員)

生涯学習フェスティバルの中で、少年少女の主張大会を開催していますが、毎年同じように観客が少ないことが課題です。映像を撮っているので、それをホームページなどで公開できないのでしょうか。多くの人の目に触れてほしいと思えます。

(事務局)

ホームページで公開することについては、これまで検討したことがありませんが、かず

さ FM で放送し、好評だと伺っています。相談員主催の事業でもありますので、今後相談員の皆様ともご相談させていただきたいと思います。

(桂副会長)

千葉テレビに声をかけると良いのでは。

(事務局)

ジェイコムに来ていただいています。

(江口委員)

文化協会も集客が悪いのですが、もう少し体育館の中に人が入ってほしいと思います。リサイクルフェアは評判が良かったと聞きました。体育館の奥の方で実施されていたようなので、もう少し目立つところでやっていただいても良かったと思います。

(事務局)

会場が二つに分かれていて、今回は特に雨が降っていたので、駐車場の催しが中止になり、講演会に来られた方が体育館に立ち寄ることが少なかったのかもしれませんが。

文化協会だけではなく、体育館のアリーナ以外の場所にはなかなか人が行かないということが課題ではあります。また工夫をして取り組んでまいりたいと思います。

リサイクルフェアに関しては、環境部が今回「みんなのメダルプロジェクト」に取り組みまれて、小型家電を回収すると呼びかけ、たくさん集まったと伺っています。リサイクルフェアも本来ならば、駐車場で実施するところでしたが、体育館の玄関に移動し、エコドライブシュミレーターは体育館の奥で、ということになりました。配置なども来年度は検討してまいりたいと思います。

(前野会長)

高専では、施設と施設を結ぶ雨除けの渡り廊下を作ったところ効果的でした。全部を一度に作るのが大変でしたら、毎年少しずつ作るということもできます。

他にご意見はございませんでしょうか。ないようでしたら、今、皆様からいただいたご意見を平成30年度事業にも反映していただければと思います。

次に議題(2)その他となっておりますが、事務局より何かございます

(事務局)

特にありません。

(前野会長)

内容でしたら、生涯学習全般にわたり何かございますでしょうか。

(佐久間委員)

市民公開講座ですが、講師を外部からお願いすることはできないのでしょうか。

(事務局)

先ほどもご説明いたしましたが、この市民公開講座は清和大学への委託事業となっておりますので、基本的には全面的に清和大学にお任せしています。もちろんこちらからも要望はしております。

(橋詰委員)

そろそろ考えどきではないかと思います。

(桂副会長)

県にマイスターという制度があります。それは県に登録されている人に無料で講師を依頼できます。お金をかけずに講師を呼ぶということもできます。

清和大学に任せるだけではなく、すぐにとはいかなくても、長い目で見て取り組むことができるのではないかと思います。

(橋詰委員)

7回でなく10回やれば良い。千葉県の中にも匠がいるということも皆さんは知らない。とても勉強になります。

(平野委員)

7回の中に入れようとするのは無理だと思うので、別枠で開催するようにしたら良いと思います。

(秋元課長)

少し訂正しますが、市民公開講座は清和大学ではなく君津学園に委託しています。清和大学と清和短大の先生が講師として講演していただいています。木更津市ではさまざまな課で講演会や学習会などを主催しています。課ごとにそれぞれの専門性を生かし、外部から講師をお願いしています。

高専さんも理系の強みを活かした講演会を行っています。市民公開講座は地元の高等教育機関である清和大学の魅力アップにもつながるように、一緒にやっていきたいと考えています。

(前野会長)

今回、清和大学と高専とで協定を結ばせていただいたので、今おっしゃったようなことができるようになりました。また他に何かありましたら、この会議でも検討してまいりましょう。

市民の皆様のニーズ、関心の高い内容を取り入れていただけるように、お願いすること

はできると思います。

(橋詰委員)

公開講座の日程も清和大学の要望ですか。

(事務局)

7月から10月までの間で開催していただくように、こちらからお願いしています。

(橋詰委員)

7月から来年の6月までというようなことはできないのですか。

(事務局)

年度の中で開催するようにしなければなりません。

4月から打ち合わせをして、募集を始めるとだいたい7月になってしまいます。文化祭やさまざまな市のイベントがありますし、冬になってしまうと寒くて外出しづらい。この時期にまとめて実施してしまうことが出席率の良さにもつながります。

(前野会長)

それでは、本日は任期最後の協議会ですので、委員の皆様からひとことずつ感想をいただきたいと思います。

(安藤委員)

今日一番印象的だったのは、市民公開講座の写真を拝見し、女性の参加者がとても少ないということです。もう少し女性が参加するようになれば良いと思います。市民公開講座は長い目で見て、啓発につながると思うので、目先にとらわれずに続けてほしいと思います。

(江口委員)

市民公開講座は、女性にとってはあまり興味を持ってない内容なのではないかと思えます。フェスティバルはもう少し広く宣伝すれば良いと思います。

(平野委員)

高専を一コマ入れていただいて、私としては要望が叶ってとても嬉しく思います。若い人が興味を持てるようなものがあると良いと思います。理系の関係を学ぶことはあまりないので。これとは別に防災関係の講座などがあると良いと思います。子どもたちへの教育でもそうですが、継続してやることが大事です。高専さんを活用していただきたいと思えます。

(佐久間委員)

フェスティバルの時期は、人が集まりにくい時期かと思います。人を集めるのは本当に難しいと思いました。

(平本委員)

少年少女の主張大会の広報についてはまたご検討いただければと思います。市民公開講座はぜひ参加してみたいと思います。

(古藤田委員)

今年度は、市民公開講座に参加できませんでしたが、継続していただきたいと思います。高専の先生のお話も聞きたいので、また参加したいと思います。フェスティバルには鎌足桜保存会で毎年参加させていただいていますが、今年度の記念講演会も、少年少女の主張大会もとても良かったです。日程は11月が良いと思います。

(大河原委員)

愛知県の知多半島のある市で面白いイベントを行っています。以前行ったことがあるのですが、そこは寺町でお寺がたくさんあるのですが、小学生が地元の寺について調べ、その調べ学習をお寺で発表し、商工会などとタイアップして特産品を売ったりしている催しです。木更津市もお寺が多いので、お寺を生涯学習の場所にしてそこに地元の物産を売るとか、そんなことをすれば集客もできるのではないかと思います。

(桂副会長)

教育長がいらっしゃるので、市民会館や体育館の改修計画など、前向きなお話があればお聞きしたいのですが。市民会館は、700人くらいの中規模程度のものを造ろうという計画を位置付けてはいます。

(前野会長)

私は、木更津市は今変わりつつあるという認識があります。人口が増えている自治体というのは本当に少ないと思います。人口が増えている自治体としてプランニングをどうするかということが重要だと思います。東京から1時間圏内である木更津市に2,500人規模のホールがあれば魅力的だとは思いますが、予算があることなのでそう簡単ではないと思いますが、夢は大きく持って、プランニングとしてはあっても良いのかなと思います。他の自治体と共同して造るということも充分あり得ることだと思います。都心部では耐震の問題があり、オリンピックもあるので、今後、ホール不足で大変困ると思います。

個人的に思っていることは、木更津は富士山が見える場所なので、能や狂言をするような舞台が地元産木材を使ってできれば良いと考えています。

協議会としては着実な展開ができたと思います。

その他、ご質問・ご意見はありませんでしょうか。無いようでしたら、これで終了させていただきます。皆様方のご協力が無事会議を進行することができました。ありがとうございました。事務局におかれましては、本日、審議されました意見などを参考に、木更津

市の生涯学習体制充実のため一層の努力をお願いいたします。

(事務局)

長時間にわたり、貴重なご意見をいただきありがとうございました。今後とも本市の生涯学習活動推進のため、委員の皆様にはなお一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

また、新年度には改めて、委員の選出を所属団体へご依頼させていただきますのでよろしくをお願いいたします。

それでは平成29年度木更津市生涯学習課推進協議会第2回会議を終了いたします。

ありがとうございました。